

# 第1回 市川市平和啓発事業検討協議会

## 次 第

令和4年8月30日（火）

15時から

第1庁舎5階 第2委員会室

1. 委嘱状交付

2. 市長挨拶

3. 委員紹介

4. 意見交換事項

(1) 現在実施している平和啓発事業の実施状況について

(2) 中立性が求められる自治体としての平和啓発事業の

在り方について

(3) 現在の事業に関するご意見、発展させるための提案

について

5. 事務連絡

## 市川市平和啓発事業検討協議会委員名簿

(敬称略、五十音順)

	区 分	役 職 等	氏 名
1	学識経験者	中央学院大学教授	川久保 文紀 (かわくぼ ふみのり)
2	平和の啓発に関し知識と理解のある者	市川被爆者の会会長	児玉 三智子 (こだま みちこ)
3	学校教育関係者	市川市退職校長会 (元市川市立小学校長)	高瀬 一男 (たかせ かずお)
4	平和の啓発に関し知識と理解のある者	一般社団法人市川市平和教育推進会議代表理事	田中 正文 (たなか まさふみ)
5	平和の啓発に関し知識と理解のある者	認定特定非営利活動法人市川市ユネスコ協会 名誉顧問	吉崎 晴子 (よしざき はるこ)

## 市川市平和啓発事業検討協議会スケジュール

月	日	回	協議会開催内容
8月	30日	第1回	○委嘱状交付 ○委員紹介 ○現在実施している平和啓発事業の実施状況について ○中立性が求められる自治体としての平和啓発事業の在り方について ○現在の事業に関するご意見、発展させるための提案について
11月		第2回	○新たな平和啓発事業の提案について
1月		第3回	○今後の平和啓発事業に関するまとめ

※新型コロナウイルス感染症の状況等によって変更の場合があります。

※開催時間は2時間程度を予定しています。

※第2回及び第3回の開催月は案ですので、日程についてはその都度調整させていただきます。

## 市川市平和啓発事業検討協議会の運営に関する要綱

### (趣旨)

第1条 この要綱は、本市の平和啓発事業を推進することを目的として開催する市川市平和啓発事業検討協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

### (意見交換事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について意見の交換を行うものとする。

- (1) 中立的な平和啓発事業の在り方に関すること。
- (2) 本市の平和啓発事業の現状及び推進に関すること。
- (3) 新たな平和啓発事業に関すること。
- (4) その他本市の平和啓発事業に関すること。

### (開催等)

第3条 市長は、必要があると認めるときは、協議会を開催することができる。

2 市長は、前項の規定により開催する協議会に、次に掲げる者の出席を依頼するものとする。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 学校教育関係者
- (3) その他平和の啓発に関し知識と理解のある者

### (協議会の進行)

第4条 協議会は、協議会の出席者の中から選ばれた者が進行するものとする。

### (報償金)

第5条 市は、協議会の出席者に対し、報償金として日額9,100円を支給する。

### (身分)

第6条 協議会の出席者は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第3条第3項に規定する特別職の身分を有する者ではない。

(事務)

第7条 協議会の運営に関する事務は、総務部総務課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、令和4年8月1日から施行する。

(この要綱の失効)

2 この要綱は、令和5年3月31日限り、失効する。

## 市川市の平和啓発事業の現状(取組み)

No.	事業名	実施内容	近年の実績		
<b>通 年 事 業</b>					
1	「平和の折り鶴」 ・募集及び送呈 ・展示	・市民から平和の折り鶴を募集し、広島・長崎に送呈。 ・広島・長崎送呈前に折り鶴を展示する「平和の折り鶴展」を実施。	令和4年度 20万羽	令和3年度 12万羽	令和2年度 15万羽
2	平和寄席	落語家や噺家の演目の「笑い」を通して、日常忘れかけている「平和の大切さ」を多くの市民に訴える。 場所: 市川市文化会館大ホール	令和元年度 ・10月15日 ・1,625人 三遊亭小遊三、 三遊亭楽麻呂、 雷門音助、 国本ハル乃	平成30年度 ・10月7日 ・1,141人 林家正蔵、 柳家喬之助、 一龍齋貞鏡、 鏡味味千代	平成29年度 ・10月29日 ・722人 立川志らく、 五街道雲助、 春風亭柳好、 桧山うめ吉
3	「平和ポスター」 ・募集及び表彰 ・展示 ・カレンダー作製	・市内小中学校の児童、生徒から平和を訴えるポスター作品を募集し、優秀賞・優良賞・佳作各12点の選考を行ったうえで入賞作品の表彰式を行う。 ・入賞したポスター作品36点を公共施設に展示。 ・優秀賞・優良賞24点を掲載した「平和カレンダー」を作製し、配布。	令和3年度 小学校(低) 246点 小学校(高) 259点 中学校 65点 合計 570点	令和2年度 小学校(低) 122点 小学校(高) 103点 中学校 41点 合計 266点	令和元年度 小学校(低) 74点 小学校(高) 115点 中学校 160点 合計 349点
4	平和パネル展	広島・長崎の原爆の日から終戦記念日にかけて、「原爆・戦争パネル」等の展示などを行い、市民に平和意識を啓発する。	令和4年度 ・アイ・リンクタウン ・8/5～16 【展示物】 広島・長崎の「原爆・戦争」パネル、 沖縄平和祈念館から借用した絵パネル、 沖縄戦に関するパネル・写真 ・被爆体験講話 8/6(土)井上勇氏 (参加者35人) ・ギャラリートーク 8/7(日)、8/14(日) 田中正文氏 (参加者70人)	令和3年度 (1回目) ・メディアパーク ・8/6～15 【展示物】 沖縄戦に関するパネル (2回目) ・メディアパーク ・11/10～18 【展示物】原爆に関するパネル	令和元年度 (1回目) ・アイ・リンクタウン ・8/7～20 【展示物】 平和首長会議「加盟都市5千突破記念ポスター」、 日本原水爆被害者団体協議会「原爆と人間」、 市川市の平和事業 ・被爆体験講話 8/12(日)井上勇氏 (参加者19人) (2回目) ・曾谷公民館 ・8/28～9/4 【展示物】 広島原爆写真パネル、 市川市の平和事業
5	小中学校での被爆体験講話	市立小中学校等に被爆体験講話の実施を呼びかけ、希望校において、市川被爆者の会の協力を得て被爆者による被爆体験講話を実施。	令和3年度 小12、中0 計12校 参加者1,030人	令和2年度 小1、中0 計1校 参加者 60人 ※コロナの影響により、7月以降中止となった	令和元年度 小16、中0 計16校 参加者1,531人

No.	事業名	実施内容	近年の実績
<b>周年事業</b>			
6	平和展	<p>【「核兵器廃絶平和都市宣言」の周年事業】</p> <p>広島平和記念資料館から借用した原爆関連資料、及び市川歴史博物館所蔵の戦争関連資料の展示などを実施。</p>	<p>令和元年度 『宣言35周年』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアパーク グリーンスタジオ</li> <li>・8/14～22</li> <li>・参加者540人</li> </ul> <p>【展示物】</p> <p>広島平和記念資料館から借用した原爆関連資料、市川歴史博物館所蔵の戦争関連資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被爆体験講話 8/17(土)児玉三智子氏</li> <li>・広島のボランティアによる朗読会 8/18(日)2回実施</li> </ul>
7	平和学習青少年長崎派遣	<p>【「終戦」の周年事業】</p> <p>市内の中学校から1名ずつ、計16名の生徒、市民代表1名を長崎市に派遣(3泊4日)。</p> <p>青少年ピースフォーラムに参加し、全国の青少年とともにフィールドワークや平和交流会など現地での学習を通して、被爆の実相と平和の大切さを知る。</p> <p>帰市後、報告書を作成し、市民を対象にした派遣団報告会を実施。</p> <p>在学する中学校で平和学習に参加して自分が感じたことを発表する。</p> <p>派遣団報告書は、市立小中学校、市立図書館に配架。</p> <p>※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。</p>	<p>平成27年度 『終戦70周年』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8/7～10</li> <li>・派遣人数21人(中学生16人、市民代表1人、引率教諭2人、市職員2人)</li> <li>・被爆地長崎で開催された青少年ピースフォーラムに参加し、体験型平和学習を実施した。</li> </ul> <p>○派遣報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10/24(土)</li> <li>・グリーンスタジオ</li> <li>・派遣報告会と映画「父と暮せば」を上映</li> </ul>

No.	事業名	実施内容	近年の実績		
<b>その他啓発事業</b>					
8	ハートフルビュー マンフェスタいち かわ	多様性社会推進課と共同して、中学生による人権作文の朗読、平和芸術家の演奏や著名人の講演等を通して、参加者と来場者の人権意識及び平和意識の高揚を図るイベントを実施。 ※令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 令和4年度は、12月4日(日)に実施する予定。	令和元年度 ・市川市文化会館小ホール ・12/1(日) ・参加者319人 【内容】 ・平和に関する講演(フォトジャーナリスト安田奈津紀氏) ・市内小中学校の合唱部による合唱		
9	平和展	令和4年度 「昭和館」から借用した実物資料やパネル、証言映像などにより戦中・戦後の人々の暮らしを伝える。	令和4年度 ・第1庁舎ファンクシヨナルーム ・8/24～31 【展示物】 昭和館から借用したパネル及び実物資料、生活支援課から借用した市内在住の遺族に返還された日章旗		
10	被爆者講話 動画配信	令和3年度 市川被爆者の会の協力を得て、動画「今を生きる皆さんへ～被爆者から伝えたいこと～」を制作し、市公式Webサイト(YouTube)で配信。被爆の実相を広く市民に伝えている。 ※令和3年度に配信を開始し、現在も配信中。			
11	「戦時下の暮らし・市内空襲被害」 ・広報紙掲載 ・動画配信	令和2年度 ※終戦75周年平和学習青少年長崎派遣の中止に伴う代替事業。 ・広報「いちかわ」に戦時下の暮らしや市内空襲被害の写真・記事及び小学生が被爆体験講話を聞いた感想文を掲載。 ・市川市の戦時下の暮らしや市内の空襲被害を伝える動画「平和への祈りを未来へつなぐ」を制作し市公式Webサイト(YouTube)で配信。			